

あなたと議会を結ぶ りっとう 議会だまり

No. 164

2012年11月1日発行

発行/栗東市議会 編集/議会広報編集特別委員会 〒520-3088 滋賀県栗東市安養寺一丁目13番33号
TEL 077-551-0137 FAX 077-551-0146 メールアドレス/ gikai@city.ritto.lg.jp



大宝小学校運動会

平成24年9月定例会は、市長から提案された23議案（人事1件、条例3件、予算5件、決算11件、その他3件）と、請願書、意見書について審議しました。

委員会報告

4

各常任委員会が議案を審査

個人質問

5

聞きました こんなこと 12人



9月定例会

採決結果の後に、「別表」とある議案の採決結果については、3ページの表をご覧ください。「全」とある議案は全員一致で可決されましたので表への記載は省略しています。

人事

教育委員会委員に、森島 昭二 氏

任期満了に伴い、森島昭二氏を任命することについて議会の同意を求められました。

(同意)

条例

一部改正

税条例

個人住民税における控除対象寄附金として公益社団法人、公益財団法人及び社会福祉法人等に対する寄附金のうち規則で定めるものを加える等、所要の改正をするものです。

(可決・全)

防災会議条例及び災害対策本部条例

災害対策基本法の一部を改正する法律の施行に伴い、防災会議の委員の選任区分に自主防災組織を構成する者及び学識経験者を加える等、所要の改正をするものです。

(可決・全)

消防団条例

機能別消防団員（特定の任務に限って従事する消防団員）の創設に伴い、所要の改正をするものです。

(可決・全)

その他

市道 1路線廃止 4路線認定

(可決・全)

(可決・全)

開発による道路延伸のため、一旦、出庭鳥ノ本3号線を廃止し、再度認定するものです。また、開発による道路の寄附・帰属のため上鉤区内7号線他2路線を認定するものです。

工場誘致について

新幹線新駅計画跡地の後継プランの一環として、株式会社手原産業倉庫を誘致するものです。

(承認・別表)

請願書

陸上自衛隊饗庭野演習場における日米合同演習の中止を求める請願書

(ふるさとをアメリカ軍につかわせない滋賀県連絡会)

代表委員 杉原 秀典氏)

請願の内容

過去の合同演習では、県民に不安と危険をもたらし、県民の生命、財産、権利、生活に関わる問題として、今回の日米合同演習の中止を求める。

(不採択・別表)

平成24年度 一般会計・特別会計補正予算

会計名	補正額	予算総額	主な内容	採決結果
一般会計	1億1565万6千円(増額)	261億8365万6千円	衛生費、農林水産業費等の増額	可決・全
国民健康保険特別会計	7073万5千円(増額)	49億6536万9千円	償還金及び還付加算金の増額	可決・全
介護保険特別会計	561万8千円(増額)	24億7866万9千円	償還金及び還付加算金の増額	可決・全
水道事業会計	8529万8千円(増額)	21億3109万5千円	建設改良費等の増額	可決・別表
公共下水道事業特別会計	1300万円(増額)	29億6599万円	工事請負費の増額	可決・全



平成23年度 一般会計・特別会計決算

(単位：円)

会 計 名	決 算 額	結 果
一 般 会 計	27,647,371,099	認定・別表
土 地 取 得 特 別 会 計	211,099,734	認定・全
国 民 健 康 保 険 特 別 会 計	4,813,111,040	認定・別表
後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計	386,962,072	認定・別表
介 護 保 険 特 別 会 計	2,251,277,418	認定・別表
墓 地 公 園 特 別 会 計	4,567,980	認定・全
大津湖南都市計画事業栗東駅前土地区画整理事業特別会計	90,555,331	認定・全
大津湖南都市計画事業栗東新都心土地区画整理事業特別会計	91,780,829	認定・全
水 道 事 業 会 計	1,450,671,087	可決・認定・全
公 共 下 水 道 事 業 特 別 会 計	3,059,128,749	認定・全
農 業 集 落 排 水 事 業 特 別 会 計	30,062,135	認定・全

賛否が分かれた案件の採決結果一覧

多 = 賛成多数 (可決・承認・認定・採択) 少 = 賛成少数 (否決・不採択) ○…賛成 ●…反対

会 派 名		新 政 会								公 明		再 生	ネ ッ ト ワ ー ク			共 産 党				
件 名	議員名	採決結果	山本	藤田	北川	寺田	三浦	林	上田	片岡	高野	小竹	櫻井	國松	田村	林	中村	太田	大西	
			章	啓仁	健二	範雄	悟	史代	忠博	勝哉	正勝	庸介	浩司	篤	隆光	好男	昌司	浩美	時子	
■ 議 案																				
工場誘致について		多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
平成24年度 水道事業会計補正予算		多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
平成23年度	一般会計歳入歳出決算認定	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
	国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
	後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
	介護保険特別会計歳入歳出決算認定	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
■ 請 願 書																				
陸上自衛隊饗庭野演習場における日米合同演習の中止を求める請願書		少	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	
■ 意 見 書																				
米軍輸送機オスプレイの配備撤回を求める意見書		少	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	○	○	○	○	○	

*議長(下田善一郎議員)は採決に加わらない *会派名の略称は次のとおり
公明→公明栗東 再生→栗東再生 ネットワーク→栗東市民ネットワーク

共産党→日本共産党議員団

委員会報告

環境建設常任委員会

平成23年度一般・特別会計決算 認定及び平成24年度補正予算

当委員会は、付託された議案13件について審査しました。

平成24年度水道事業会計補正予算について、委員より、老朽管の改修は進んでいるのか。との質疑に対し、当局から出庭水源地の改修事業が平成27年度を目途に終了予定であり、それ以降に本格実施を考えているとの答弁がありました。

平成23年度一般会計歳入歳出決算認定について、委員より①大阪湾広域処理場の受け入れ終了時期が、産業廃棄物で平成26年度、一般廃棄物で平成39年度までと想定されているがそれ以後の計画は。②道の駅を活用した金勝山の散策コースを充実したものにする取り組みを考えてはどうか。③木造住宅耐震診断の受診率が低いと思われるが、現段階での対象戸数と受診済みの戸数は。との質疑に対し、当局から①最近の搬入量からの想定年度であり、それ以後の計画は決まっていないが、近畿ブロックで協議会を設置し協議している。②ホー

ムページの更なる充実、バス会社等とタイアップして、鋭意取り組んでいきたい。③対象戸数約4,800戸で、うち受診済みが平成23年度末で591件となっている。今後受診率アップのために啓発を推進していく。との答弁がありました。

当委員会に付託された13議案については、採決の結果、原案どおり可決、承認、認定すべきものと決しました。



金勝林道崩落現場

文教福祉常任委員会

補正予算及び決算認定の 審査内容は

当委員会は、付託された議案4件について審査しました。

平成24年度一般会計補正予算については、委員より多くの質疑が出されましたが、主なものとしてポリオワクチンが生ワクチンから不活化ワクチンに移行するが、医療機関や保健センターでの指導はどうするのかとの質疑に対し、当局から医療機関での委託接種となる。それぞれ接種間隔、状況を加味した接種となるよう指導し、予診票の中身についても適切かどうか確認するとの答弁がありました。採決の結果、全員一致で原案どおり可決すべきものと決しました。

平成23年度一般会計歳入歳出決算認定については、委員より多くの質疑が出されましたが、主なものとして①市内教育施設の空調設備設置の開始時期はいつか。②民生委員児童委員について、182人の定数に対して現在161人ということで欠員が生

じているが、決まらない理由は。との質疑に対し、当局から①約10億円の経費が見込まれ、年次の計画が必要であり、すぐの設置は難しい。②きめ細かなかたちにと1自治会に一人の配置とした。従来の推薦委員会方式から自治会長の推薦に、という方式の変更の説明がうまくできていなかったためかと検証しているところである。との答弁がありました。反対討論がありましたが、採決の結果、賛成多数で認定すべきものと決しました。

またその他2議案のうち、1議案については、反対討論がありましたが、採決の結果、賛成多数で認定すべきものと決し、他の1議案については採決の結果、全員一致で可決すべきものと決しました。



総務常任委員会

消防団条例の一部改正・ 補正予算・決算認定

当委員会は、付託された議案9件と請願書1件について審査しました。

消防団条例の一部改正について、委員より、機能別消防団の①他市においての組織は。また山間部にこだわらないのか。②訓練への参加は。③金勝生産森林組合の皆さんにご理解いただいているのか。との質疑に対し、当局から①全国的に、企業や大学生による組織など、山間部にこだわらない組織がある。②春の火災予防運動の一環として、啓発活動と共に訓練を考えていく。③昨年度から行っている協議の中でご理解いただいている。との答弁がありました。

平成23年度一般会計歳入歳出決算認定については、委員より、歳入に関して不納欠損の額が大きいが、状況を把握して事前に対処できなかったのか。との質疑に対して、当局から差し押えなどで徴収の働きかけをしてきたが、5年を経過し今回不納欠損となった。今後未納に対し早期徴収に努

める。との答弁がありました。

当委員会に付託された9議案については、採決の結果、全員一致で原案どおり可決・認定すべきものと決しました。

また、請願書については、採決の結果、賛成ではなく、不採択とすべきものと決しました。



林野火災消防訓練

個人質問

9月13日・14日の2日間、12人が質問しました。
質問と答弁の要旨をお知らせいたします。
なお、詳細内容は後日、市のホームページ等に掲載します。

地域で自然エネルギーの創出を

田村 隆光 議員

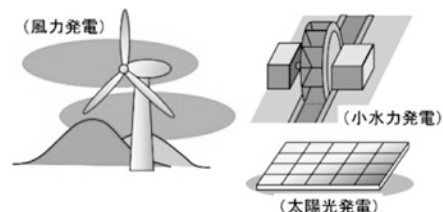
問 東日本大震災及び福島原発事故の発生以降、全国で再生可能エネルギーに対する取り組みのスピードが増している。自然エネルギーは地域資源でもあり、積極的に活用するエネルギー政策の取り組みが重要だと考えるが。

答 県が本年度中にエネルギー振興戦略プランを策定される予定である。それに併せて本市でも環境基本計画の構造計画の見直しを図り、その中で将来的な取り組みを積極的に進めていく。

子どもたちが、
たくましく生きてくれるために

問 子どもを取り巻く環境は危険が多い。大人が守ることは当然であるが、成長や環境に応じた個々の危険予測能力や危険回避能力等を高める教育も必要では。

答 就学前および小中学校では、年齢に応じて危険回避能力等を醸成する学習を実施している。更に家庭や地域との連携も含め、事故防止や安全に関する指導の充実を図る。



個人質問

ゆるキャラについて

北川 健二 議員

問 「ゆるキャラまつり」への参加は。

答 保有する着ぐるみの老朽化が著しいため、今年度の参加は考えていない。



問 くりちゃんの積極的な活用は。

答 次年度以降、ゆるキャラまつりをはじめとする観光キャラクターとして活用したいと考える。

西中学校の部活について

問 ボールがフェンスを超えない対策は。

青少年健全育成 「いじめ問題」について

林 好男 議員

問 いじめの起こりにくい環境とは。

答 学級経営、学級作りが大事で、一人一人の子どもたちの様子を把握し、思いを大切に、皆が認められる仲間作りが大切である。

問 先生が子どもたちとしっかり向き合えるよう、子どもたちに接する時間を持てる環境が必要では。

答 教師の多忙さは教育委員会の課題。少しでも子どもと向き合う時間が出るよう取り組んでいく。

RD最終処分場問題について

櫻井 浩司 議員

問 滋賀県が、周辺住民に対して提示した二次対策工の協定書案について、市の評価は。

答 県と周辺自治会との話し合いで示された案なので、真摯に受け止めるとともに、細部については、県と周辺自治会の協議の動向を見守りたい。

問 栗東市民に向けた説明も必要と考えるが。

答 広く市民への周知や理解を求めることが必要と考えるので、県において、市民説明会を開催するよう要請している。

答 防球フェンス最高部で14.9mの高さのネットを設置している。

問 砂ぼこりと外周ネットフェンスの破れ対策は。

答 散水を実施しており、冬場に順次植栽をする予定。また、規模の小さいものは随時、大きな破れはまとめて修繕する。

命のバトンについて

問 命のバトンのPRと、民生委員児童委員との連携は。

答 民生委員児童委員の自主的活動を基本としながら、チラシの回覧、掲示板、広報紙を通じた案内をし、また、関係団体と連携を図っていく。

問 「わが校のストップいじめアクションプラン」をどのように活用されるのか。

答 学校、家庭、地域の大人たちの連携で子どもたちを包み込み守り育てる確かな環境づくりに努める。

「問題行動」について

問 「万引き追放ホットリンク」の取り組みは。

答 各校で「初発型非行防止教室」を実施し、万引きをはじめとする非行防止教育に取り組み、各店舗に任意・加盟制を原則とし、即時通報や情報提供をお願いしている。

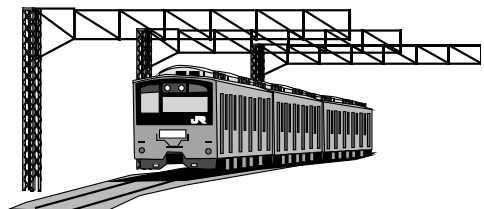


滋賀県草津線複線化

促進期成同盟会について

問 草津線の複線化や手原～石部間の新駅について、意見を聞かれるが実現性は。

答 JR西日本の考え方としては、早期の実現は難しい状況である。段階的に複線化を進めていくにあたり、将来的には利用客数の増加に向けた様々な事業を展開し、早期実現に向けて取り組んでいく。





個人質問

後継プランについて

寺田 範雄 議員

問 「新幹線新駅が必要」との知事発言に対する対応と、後継プランへの影響を問う。

答 大変遺憾であり、誠意をもって事態収拾にあたられるよう申し入れをした。関係する自治会や地権者を混乱させ、土地活用促進に影響が出ている。



期待される後継プラン

問 後継プランに伴う周辺の交通緩和や、当該地域の更なる整備について問う。

特色ある森林機能の有効活用について

三浦 悟 議員

問 バンガロー村の、老朽化した海賊船遊具の処置及び今後の運営は。

答 遊具は、今年度中に解体撤去し、また、運営については、指定管理が完了する平成28年度末を目途に、対応を検討する。

問 平谷球場トイレの雨水侵入の修理をするべきと考えるが計画は。

答 調査し、原因究明後に適正に対応する。

答 周辺の道路網はじめ後継プランを確実に実施し、活力と元気を取り戻したい。

学校教育について

問 栗東市独自の教職員養成や研修の実態を問う。

答 市費での養成は財政上困難であり、各種研修会へ参加し、教職員の資質向上と教育活動充実に努めている。

問 他府県で取り組まれている中学生レスキュー隊などのボランティア活動について問う。

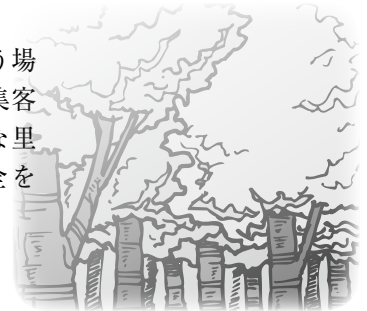
答 中学生が地域の一員として活躍したり、防災訓練へも参加することで、防災意識の向上につながるよう努めていく。

問 Bコートを拡大し、多目的に有効利用する考えはあるのか。

答 周辺の地形や当該地が保安林に指定されていることから難しい。

問 将来にわたり琵琶湖に良好な水を供給するため、災害を未然に防ぐために森林整備を踏まえた、森林保全や森林機能の有効利用について市のビジョンは。

答 森林と触れ合う場として観光客の集客に努めている。年次的な里山の手入れを含め保全を図っていききたい。



子どものがん教育について

小竹 庸介 議員

問 新しいがん対策推進基本計画では、子どものがん教育が項目に盛り込まれたが、市の今後の取り組みは。

答 今後、小・中学校で、医師会等とも連携し講話など工夫ある取り組みを進める。



未耐震化住宅の取り組みについて

問 耐震改修促進計画では、平成27年度末までに、未耐震住宅の耐震化率の目標を90%としているが。

答 計画時での未耐震住宅は、約5,000戸で、現時点の建替え改修等は、400戸程度であり、国・県の制度を活用し、更に耐震化が進むように取り組む。

問 耐震改修等には補助金もあるが、未耐震住宅を建替えをされる場合は補助金がないが。

答 補助金などについては、県とも協議をしていく。

聞き取りにくい防災無線

(Jアラート)について

問 聞こえにくいことは全国的な問題であり、放送内容など市ホームページに掲載できないか。

答 避難情報など、重要な内容については、市のホームページに掲載をする。

個人質問

中学校の武道授業、小・中学校の歴史教育、道徳教育について 中村 昌司 議員

問 2学期に本格化する中学校の武道授業実施に向け、どのような取り組みや安全な柔道授業の実施に向けた対策を講じてきたのか。

答 「施設設備・用具の点検」、「事故に備えたマニュアル等の整備」について各校に確認や指導をし、県・市教育委員会主催の指導者講習会などを実施した。



問 小・中学校の歴史教育や道徳教育への取り組み、課題はどのようなものか伺う。

答 歴史学習は、児童生徒が発達段階に応じた学習過程の中で歴史的なものの見方・考え方を習得していく教育であると考えているが、知識理解のみに終わることのないよう、校外学習を通じて作業的・体験的な学習の充実を図っている。また、道徳教育は、学校において最重要課題であると考えており、「道徳の時間」、「総合的な学習の時間」、「特別活動の時間」などで発達段階に応じた指導で相手を尊重する心や規範意識を培っている。

政権交代がもたらした本市への影響について 國松 篤 議員

問 政権交代以後、交付税をはじめ地方自治体に影響をもたらしたものは。

答 経済危機対策等に取り組み、そのことが一定、市民生活の向上に寄与したものと考えられる。

問 子ども手当（児童手当）、農業者の戸別所得補償等本市への影響並びにその効果をどのように評価されているか。

答 子ども手当は、平成21年度児童手当支給額が約7億1千万円、平成23年度子ども手当支

給額が約18億6千万円。市負担は、平成21年度が約1億6900万円、平成23年度が約2億700万円。3度のシステム改修、対象者の増加により、事務量が大幅に増加している。

平成23年度の農業者戸別補償制度交付金は、1億6720万3283円。それに伴う米の所得補償交付金は、4963万5000円を栗東市の農家に配分された。本市の農業にあっては、充実した制度であると認識しており、今後も実施いただきたいと考えている。



鳥獣被害の防止と特措法の一部改正について 片岡 勝哉 議員

問 鳥獣による農林産業等の被害が深刻化する中、今年に鳥獣被害防止特措法の改正があった。本市でのニホンジカ・イノシシの生息数と被害実態及び捕獲計画は。

答 イノシシの生息数は不明であるが、ニホンジカの生息数は200～300頭と推定をしている。被害額は平成23年度で、1.49haで約130万円である。市の捕獲計画では年間80頭程度としている。

問 防護柵の設置は、農作物を守るためであり、面積当りの生息数を市は正確に把握できているのか。

答 市では把握ができていないが、滋賀県ニホンジカ特定鳥獣保護管理計画によると、今現在ニホンジカは、1平方キロ当り8.8頭～12.6頭で、自然に影響を与えない県の目標値は4頭としている。

問 早急にデータと必要な個体調整数を把握し、短期間で有効な駆除作業を検討されたい。

答 次年度以降の市の被害防止計画の中で、検討していく。



個人質問

原発ゼロは国民の声

大西 時子 議員

問 原発事故の教訓から、市としてどのような取り組みをしていくのか。

答 ①9月中に市内9小学校の敷地内で放射線量を測定、その結果は市ホームページで公表する。
②「地域防災計画原子力災害対策」は、平成25年3月を目途に策定、それと併せて防災会議を開催する。
③自然エネルギーの活用等については、環境基本計画を策定中である。

「いじめ」をなくし、心と体を保障するために

問 教育の諸問題にどのように取り組んでいくのか。

答 ①9月から「栗東市いじめホットライン」専用回線を使用して児童生徒支援室内で臨床心理士が対応し、学校教育課との調整会議で学校との連携を図る。

②毎年「ふだんの生活習慣アンケート」による継続した取り組みをしている。

③教職員の負担軽減については、今年度から実施している。教職員の増員は、国・県に要望している。



たばこ業者への貸付金 未回収問題の早期解決を

太田 浩美 議員

問 たばこ業者4社に対し、合計で19億円を10年間貸付けている。その内3社の返済期日が過ぎたが、どこからも当初の契約通り一括償還されていない。一日も早く回収し、市民福祉の向上に有効活用されたい。

答 相手方に返済計画の提出を求めている。その結果を踏まえ、今後の対応策や市の方針を決定する。

小中学校へのエアコン設置で暑さ対策を

問 最高気温が年々高くなり、県内におけるエアコン設置率も42%と進んでいる。設置計画の具体化を。

答 必要性は認識するが、財政状況や総合的な学校施設の整備状況も勘案しながら、今後の課題とする。



RD処分場の有害物から飲み水を守るために

問 高濃度の表層ガスが検出された木くず焼却炉周辺の深部に、地下水汚染の原因物であるVOC類が存在する可能性が極めて高い。しかし、県の一次対策では、3～5mの掘削にとどまっている。20～30m深く掘削し、VOC類の本体を速やかに除去されたい。

答 県は、一次対策の掘削状況や電磁探査結果を確認しながら対応するとしている。

意見書

今定例会では、意見書1件を可決し、政府関係機関に提出しました。

地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書

地球温暖化防止のための温室効果ガスの削減は、我が国のみならず地球規模の重要かつ喫緊の課題となっており、森林の持つ地球環境保護、国土の保全、水資源の涵養、自然環境の保持など「森林の公益的機能」に対する国民の関心と期待は大きくなっている。

また、わが国は京都議定書において、第1約束期間である平成20年から平成24年までの間に、温室効果ガスを6%削減することが国際的にも義務付けられているが、そのうち3.8%を森林吸収量により確保するとしている。

このような中、「地球温暖化対策のための税」が平成24年10月に導入される一方、「森林吸収源対策などの地球温暖化対策に関する地方の財源確保」については、「平成24年度税制改正大綱」において、「平成25年度実施に向けた成案を得るべく更に検討を進める」とされている。

もとより、地球温暖化防止をより確実なものとするためには、森林の整備・保全等の森林吸収源対策や豊富な自然環境が生み出す再生可能エネルギーの活用などの取り組みを、山村地域の市町村が主体的・総合的に実施することが不可欠である。

しかしながら、これら市町村では、木材価格の暴落・低迷や林業従事者の高齢化、後継者不足など厳しい情勢にあり、森林吸収源対策などの地球温暖化対策に取り組むための恒久的・安定的な財源が大幅に不足している。

よって、下記事項の実現を強く求めるものである。

記

二酸化炭素吸収源として最も重要な機能を有する森林の整備・保全等を推進する市町村の役割を踏まえ、「地球温暖化対策のための税」の一定割合を、森林面積に応じて譲与する「地方財源を確保・充実する仕組み」を早急に構築すること。

(可決=全)

栗東市路上喫煙の防止に関する条例 10月1日に施行

路上喫煙は、個人のマナーの問題や受動喫煙による健康への被害などがあることから、ルールとして制定する必要性があると判断し、3月定例会において「栗東市路上喫煙の防止に関する条例」を議員提案し可決・制定しました。

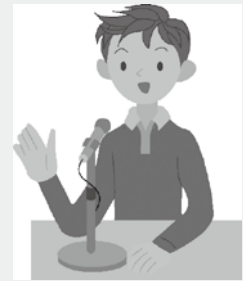
この条例が10月1日に施行され、市内全域の道路、公園、その他の公共施設における路上喫煙が禁止となり、当日、栗東駅・手原駅で啓発活動を行いました。

**子ども議会を開催します**

将来の栗東市を担う子どもたちが、自分のまちの姿をよく見つめ、議会の役割を知ることにより、市政への関心とまちづくりに進んで参画しようとする意欲を高めることを目的として、子ども議会を開催します。

ぜひ、傍聴にお越し下さい。

日時 平成24年12月1日(土)
時間 13時20分～
場所 栗東市役所 4階議場

**傍聴** にお越しく下さい

本会議・委員会審査は、どなたでも自由に傍聴できます。

開会時間は、9時30分からです。日程について、現段階ではあくまで予定であるため、変更になる場合がありますのでご了承下さい。

<問い合わせ先> 議会事務局 TEL 551-0137

12月定例会の予定

12月定例会	
12月5日	本会議(議案上程等)
12日～14日	本会議(個人質問)
17日～19日	各常任委員会
21日	本会議(委員長報告・採決)

編集後記

今年の夏は10%以上の節電が謳われ、皆さま暑さ厳しいところ節電対策に取り組まれたことと思います。

そんな中、ロンドンオリンピックで過去最多のメダル数を獲得した日本人選手の活躍をご覧になった方々も多かったと思います。

オリンピックに続き、8月29日から9月6日までロンドンパラリンピックが開催され、栗東市出身の木村敬一選手が水泳競技で銀・銅メダル獲得と出場種目すべてにおいて入賞されるという快挙を成し遂げられました。周囲からの期待はさぞかし重圧であったかと思いますが、レース終了後に「水泳をしてきて本当に良かった。これ以上ない幸せです。」と語られたそうです。

昨今、財政状況が厳しい栗東市にあって、木村選手のメダル獲得と言葉は『今は厳しくとも目標をもって取り組みば必ず達成できる。』ということをご示唆いただいたように思います。

議会としても、議会改革を進め、よりよいまちづくりに向け取り組んでまいりますので、引き続きご指導のほどお願い申し上げます。